

窓

京都新聞 令和2年(2020年)8月12日(水)

卒業まで 少しでも友人と

八幡市・伊藤 勇飛(大学生・22)

コロナが収束したら、や 授業になり、友人に会う機
りたいことがある。それは 会がなくなってしまう。
最後の学生生活での思い出 卒業すればおのおの別の道
作りである。4月で大学4 に進み、遊ぶ機会もなくな
年生になり、学生生活最後 っていくだろう。その前に
の1年間を過ごすはずだっ 思い出をたくさん作りたい
た。しかし、コロナの影響 と思っている。
で前期の授業が全てネット 何も予定がない日だとし

ても学校に行き、友人と一
緒に授業を受けたり話をし
たり、大学が終わった後に
どこかでゆったりしたり。
しばらく友人と会わなくな
って、何気ない一日も自分
の中で貴重な思い出だった
と初めて知ることができ
た。思い出を積み重ねて、
年をとった時に「あの時は
楽しかった」と思えるよう
にしたい。
旅行などに行けたらいい
なとも思う。学校生活での
楽しさももちろんあるが、
旅先にはまた違った良さも
ある。卒業旅行も含めて今
から想像が膨らむ。卒業ま
での限られた一日一日を、
少しでも友人たちと過ごす
ことができるように、切に
願う。

※無断転載不可